



岡山大学  
OKAYAMA UNIV.

岡山大学大学院自然科学研究科  
環境生命科学研究科  
**先進基礎科学特別コース**

**私がプロジェクトリーダー!**

a Minor in Advanced Core Sciences

Okayama University





# 先進基礎科学特別コースとは

2011年4月スタート

a Minor in Advanced Core Sciences

## 設置目的

将来企業の**高度専門技術者**や大学の**先駆的研究者**として、リーダーシップを発揮できるプロジェクトリーダーを育成すること。

## 教育目標

- ①幅広い自然科学分野における**基礎学力**を一層高めること。
- ②国際感覚を身につけ実践的な**英語力**を磨くこと。
- ③広い視野と柔軟な発想から**課題設定・解決能力**を身につけること。

## コースの特徴

教育目標を達成するため、本特別コースでは**実践的英語教育**、**多様なインターンシップ**、**キャリア教育**などを実施します。

## コースの流れと コース生のメリット

履修生は学部4年次から特別コース生としての認定を受け、博士前期課程を修了するまでにそれぞれ所属する専攻の履修科目に加え、特別コースのカリキュラムに従って学習します。

履修生には、次のようなメリットがあります。

- ・学部生でも企業の人と研究・交流する場を持つことができます。
- ・学部4年生で取得した特別コースの単位は、最大6単位まで大学院の修了要件単位にすることができます。(ただし、大学院の専攻が定める条件にもよります。)
- ・大学院入学試験は、一般入試とは異なる特別入試が適用されます。

さらに、博士後期課程への進学を希望する人には、より高度な研究開発能力を育成するカリキュラムが用意されています。

## 特別コースのカリキュラム

特別コースの  
修了要件単位

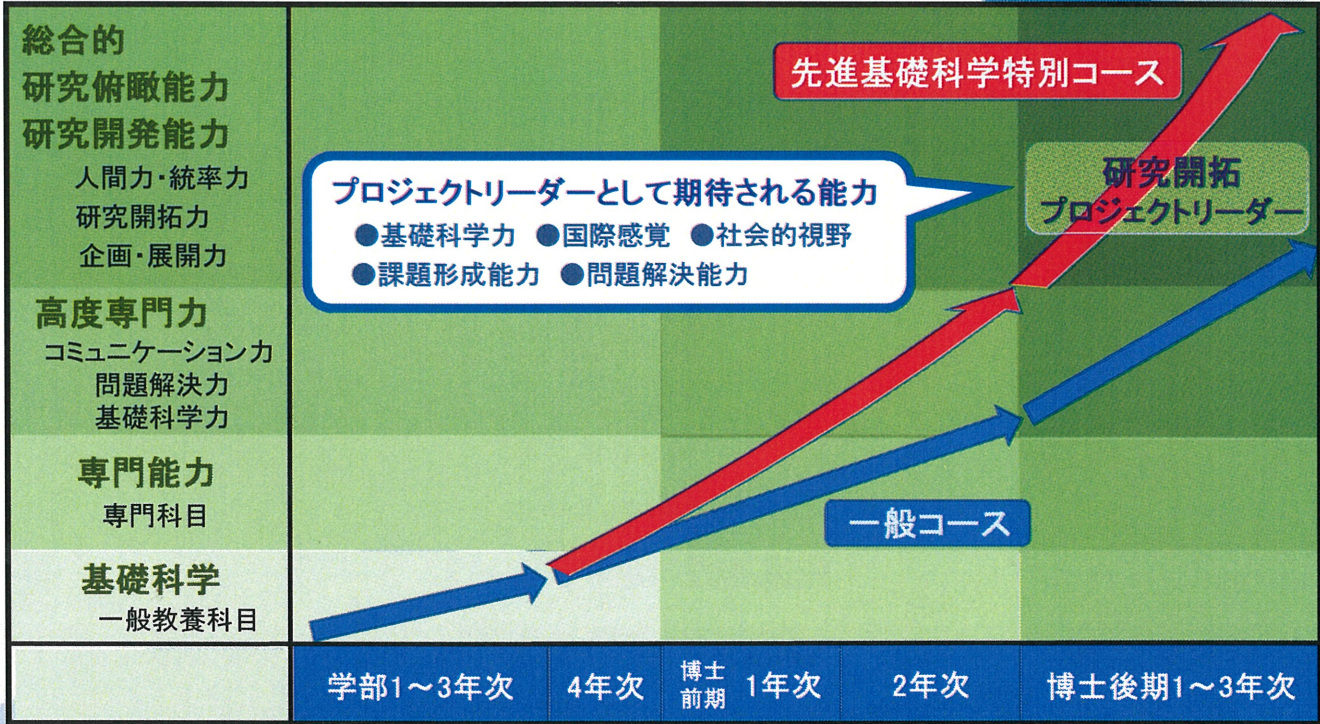
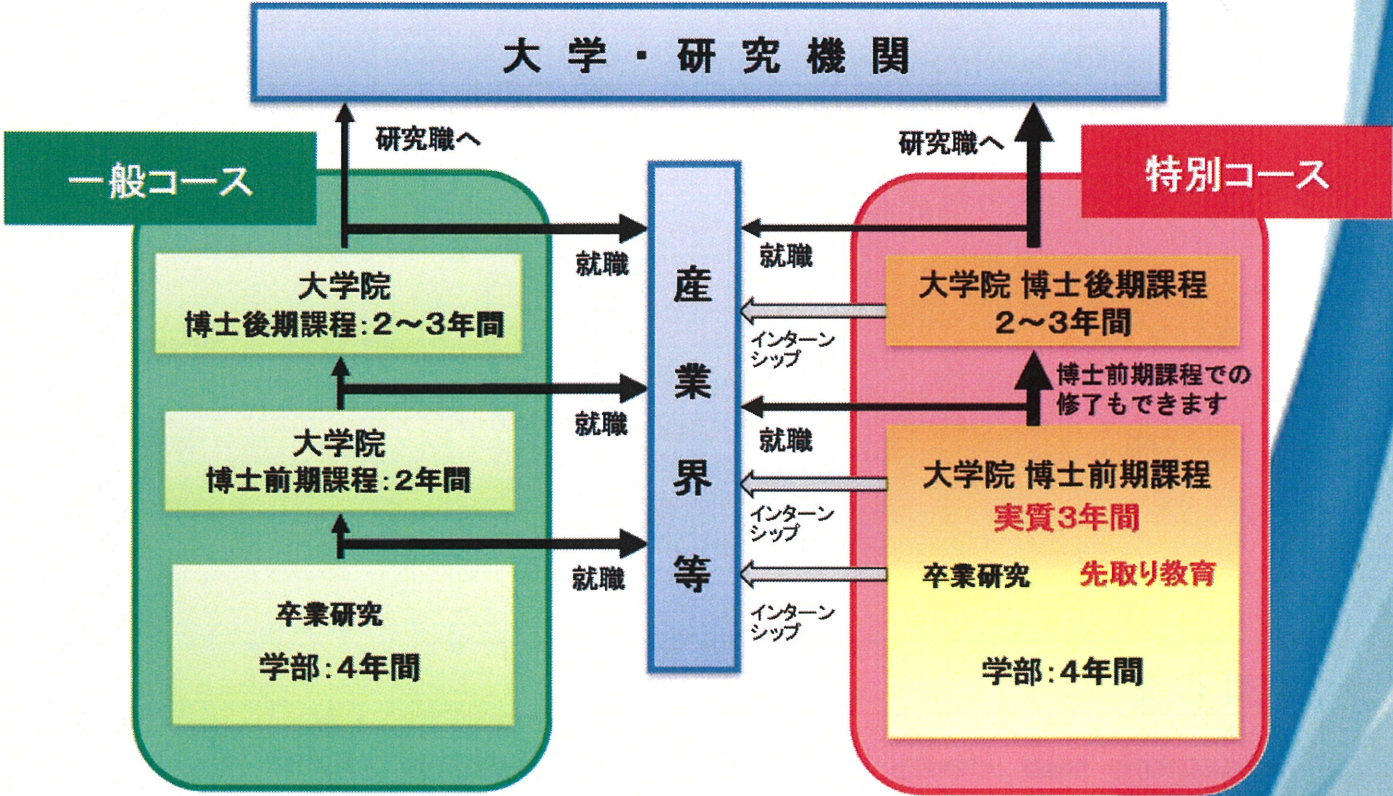
博士前期課程 11単位  
博士後期課程 4単位

	博士前期課程			博士後期課程	
	1年目(学部4年)	2年目(M1)	3年目(M2)	4年目(D1)	5~6年目(D2~D3)
専門基礎科目 + 総合科目	先進生命科学基礎(2) 先進数理物理学基礎(2) 先進化学基礎(2) から1科目履修 先進知的財産論(0.5) コース特別講義(0.5)	組織マネジメント概論(1)		科学技術史(0.5) 人事管理論(0.5)	
英語科目	科学英語基礎A(0.5) 科学英語基礎B(0.5) 科学英語基礎C(0.5) 科学英語基礎D(0.5)	科学技術英語 I A(0.5) 科学技術英語 I B(0.5)	科学技術英語 II A(0.5) 科学技術英語 II B(0.5)	科学英語上級A(0.5) 科学英語上級B(0.5)	
社会連携科目	課題調査 インターンシップ(1)	課題解決 インターンシップ(2)		社会連携スタディ(2)	

- (注)・括弧内の数字は単位数  
・博士後期課程進学予定者で、博士前期課程の早期修了を希望するものは、相談のこと



# 特別コースと一般コースの比較





## ○先進基礎科学特別コースを履修するには

- 先進基礎科学特別コースを履修するには、学部3年次末に所定の履修申請用紙を提出する必要があります。
- 履修申請書を提出した学生に対して書類審査を行います。
- 審査の結果、合格と判断された学生には、4月に開講する本コースの履修が許可されます。

※詳しくは、「先進基礎科学特別コースHP (<http://schp.phys.okayama-u.ac.jp/skk/>)」をご覧ください。

## ○先進基礎科学特別コース履修生の大学院入試について

- 先進基礎科学特別コース履修生に対しては、通常の入学試験とは別に、特別入試を行います。

※詳しくは、「学内特別入試(先進基礎科学特別コース)学生募集要項」をご覧ください。

## 問合せ先

- 自然系研究科等 学務課 大学院担当 TEL 086 (251) 8576 又は、各専攻の担当まで
- 数理物理学、分子科学、生物科学、地球科学専攻 理学部事務室 教務学生担当 TEL 086 (251) 7778
- 機械システム工学、電子情報システム工学、応用化学、生命医用工学専攻 学務課 大学院担当 TEL 086 (251) 8576
- 社会基盤環境学、生命環境学(人間生態学講座)、資源循環学専攻 環境理工学部事務室 教務担当 TEL 086 (251) 8815
- 生命環境学(環境生態学講座)、生物資源科学、生物生産科学専攻 農学部事務室 教務学生担当 TEL 086 (251) 8286

保険について | 学研災(学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険)に、加入する事が望ましい。インターンシップに参加する際に必須



岡山大学

岡山大学大学院自然科学研究科  
環境生命科学研究科  
**先進基礎科学特別コース**

〈自然系研究科等 学務課 大学院担当〉  
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1  
TEL 086 (251) 8576  
FAX 086 (251) 8580  
HP <http://schp.phys.okayama-u.ac.jp/skk/>  
MAIL [agf8576@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:agf8576@adm.okayama-u.ac.jp)



# 先進基礎科学特別コース

岡山大学教育研究プログラム戦略本部  
【教育プログラム】

★確かな基礎学力を有し、  
グローバルに活躍出来る  
将来のプロジェクトリーダーの育成

私がプロジェクトリーダー!

## 平成28年度カリキュラム

平成27年度までに比べてスリム化 ➡ 負担軽減

特に、インターンシップ受入先とのマッチングの改善

↓  
主専攻の教育・研究活動との両立が  
さらに良好

## 平成28年度特別コースのカリキュラム表

特別コースの  
修了要件単位

博士前期課程 11単位 (H27年度 20単位)  
博士後期課程 4単位 (同 10単位)

	博士前期課程			博士後期課程	
	1年目(学部4年)	2年目(M1)	3年目(M2)	4年目(D1)	5~6年目(D2)
専門基礎科目 + 総合科目	先進生命科学基礎(2) 先進数理物理科学基礎(2) 先進化学基礎(2) から1科目履修 先進知的財産論(0.5) コース特別講義(0.5)	組織マネジメント概論(1)		科学技術史(0.5) 人事管理論(0.5)	
英語科目	科学英語基礎A(0.5) 科学英語基礎B(0.5) 科学英語基礎C(0.5) 科学英語基礎D(0.5)	科学技術英語 I A(0.5) 科学技術英語 I B(0.5)	科学技術英語 II A(0.5) 科学技術英語 II B(0.5)	科学英語上級A(0.5) 科学英語上級B(0.5)	
社会連携科目	課題調査 インターンシップ(1)	課題解決 インターンシップ(2)		社会連携スタディ(2)	

(注)・括弧内の数字は単位数  
・博士後期課程進学予定者で、博士前期課程の  
早期修了を希望するものは、相談のこと



# 平成28年度課題調査・解決インターンシップの進め方(予定)

## 課題調査インターンシップ:B4

- ・ガイダンス 4月16日(木)
- ・「岡山の知財戦略と心得としての特許」 23日(木)
- ・文献検索ガイダンス(岡山大図書館) 4月30日(木)
- ・面接と個別の希望調査 4月中
- ・インターンシップ先とのマッチング調整 5月~6月
- ・事前準備  
(文献検索や特許検索による調査) 7月~8月
- ・第1回インターンシップ先訪問 9月  
(コーディネータ同行)

## 課題解決インターンシップ:M1

- 昨年度より引き続き
- ・課題解決に向けてのプランの作成
- ・コーディネータとの面談
- ・企業との調整
- ・課題解決のための実験等の実施
- ・文献・特許・HP検索などによる再調査
- ・インターンシップ先を適宜訪問

中間報告会(B4は参加のみ, M1は発表, 主に大学内部者の参加)

9月上旬

- ・インターンシップ先での製品や技術について課題候補を抽出し, 課題を具体化(必要に応じてインターンシップ先を訪問し助言を受ける) 9月~11月

引続き・実験等の実施

- ・インターンシップ先を適宜訪問
- ・コーディネータとの面談を行って、課題解決に向かう

最終報告会(B4は参加のみ, M1は発表, インターンシップ先企業も参加)

11月下旬

報告書の作成 (B4, M1) 12月

報告書の提出 (B4) 3月(1~2月: インターンシップ休み)

(M1) 1月

3

### 課題調査インターンシップ(B4)

活動内容	4~5月	6~7月	8~9月	10~11月	12~1月	2~3月
ガイダンス・インターンシップ先の決定	→					
企業訪問。打ち合わせ	マッチング調整		↑	↑		
文献・特許などの検索・調査		空き時間を利用して適宜	-----		休止期間	→
企業の方とメールのやり取りなど			2週間に1回程度	-----		休止期間
中間報告会(参加のみ, 発表なし)			↑			
最終報告会(参加のみ, 発表なし)				↑		
報告書の作成					休止期間	→ 完了

### 課題解決インターンシップ(M1)

活動内容	4~5月	6~7月	8~9月	10~11月	12~1月	2~3月
課題解決プランの作成 インターンシップ先との調整	→					
企業訪問。打ち合わせ	↑	↑		↑		
課題解決のための実験・計算、解析など		空き時間を利用して適宜	-----			
企業の方とメールのやり取りなど			2週間に1回程度	-----		
中間報告会			↑			
最終報告会				↑		
報告書の作成					→	完了

4